

(別紙)中部運輸局二次評価結果 令和6年3月21日付け中運交企第191号通知

自治体・協議会名	新城市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・これまで実施してきた「夏休み小学生50円バス」に加えて、大河ドラマ放映に合わせ「どう解く！？家康謎解きラリー」を実施するなど、東三河地域の自治体と連携し、広域移動とバスの利用促進に資する取り組みを継続的に行っていることを評価します。
- ・Sバスとタクシーの共通乗車券やSバス1日乗車券の発行により、公共交通の乗継、乗り換えをしやすい環境を構築し、公共交通の利用機会の創出と利用促進に取り組んだことを評価します。
- ・「どうする田口新城線」と題したイベントを始め、新城市・設楽町や交通事業者、地域住民のほか多様な主体が連携して地域間幹線系統（田口新城線）の重要性の啓発や利用促進に向けた取組を推進したことを評価します。
- ・交通系ICカードの導入を行うバス事業者に対して事業費を補助するなど、利用環境の向上に取り組まれていることを評価します。

期待する取組

- ・北設楽郡と共に現在作成中の地域間幹線系統（田口新城線）を中心とする利便増進実施計画について、本計画が有効なものとなるよう、引き続き、関係者や地域住民を交え、連携・共創の下、検討や策定が進められることを期待します。
- ・上記検討に合わせ、Sバスをはじめとする地域内交通とも有機的に連携し、乗り継ぎ利用も想定し、引き続き、地域全体の公共交通の利便性向上と利用促進につながる施策に取り組むことを期待します。